

令和6年5月22日付【日本下水道新聞】

関東支部 第14回通常全体協議会

＜人材育成・確保積極的に継続＞

## 人材育成・確保 積極的に継続

水コン協関東支部  
第14回全体協議会



菅原支部長

全国上下水道コンサル  
タレント協会関東支部（菅  
原一孝支部長）は15日、  
都内で開いた第14回通常  
全体協議会で令和5年度

の事業報告・令和6年度  
の事業計画などを審議  
し、引き続き人材の確保  
・育成などに取り組んで  
いくとした。

昨年度は対面形式での  
若手社員研修会と下水道  
事業座談会を4年ぶりに  
開催した。座談会では1  
都7県の下水道担当課長  
・室長と日本下水道事業  
団を招き、各事業体の課  
題や取組み事例について  
意見を交わした。

このほか、3回の技術  
講習会と2回の施設見学  
会を開催。また、大学・  
高専53校を対象として水  
コンサルタレントの役割の  
周知を図るなど、重点課  
題の「人材（財）の確保

と育成」にも積極的に取  
り組んだ。今年度もこう  
した活動を続けていく。

冒頭あいさつで菅原支  
部長は、ウォーターPP  
Pや水道行政移管といっ  
た動きが「コンサルタン  
トにとっても転換期の始  
まりになるのでは」との  
見方を示し、事業環境の  
多様化・複雑化に対応す  
ることが重要だと指摘。  
他社と交流できる協会や  
支部の活動を通じて知識  
と感性を磨き、連携をよ  
り強化していくべきだと  
した。